

第三中学校区授業研究会

〔第三中学校、第三小学校〕

～第三中学校区で取り組んでいること～

【三小】算数科において、児童同士の「学び合い」を中心とした学習指導の工夫を通して、学びを深めることができる授業のあり方を探求しています。

【三中】各教科の学習過程において、基礎・基本を明確にし、学び合いの場を設定することを通して、生徒の「学び」が生まれる授業づくりに取り組んでいます。

1. 研究授業について



パイロットスクール公開研究会では、中学1年数学「図形の移動」の授業を提案しました。生徒は、直角三角形を敷きつめて模様を作るという課題に、仲間と一緒に取り組めました。



パイロットスクール公開研究会では、小学6年算数「比例と反比例」の授業を提案しました。「共有」と「ジャンプ」の2つの課題を解決するために、児童は互いの考えを聞き合いながら取り組みました。

2. 研究協議会について



小中の教員が学習指導や生徒指導、地域連携等の部会に分かれて意見を交換しました。中学校区内で共通理解を図りながら小中一貫教育を進めています。



スーパーバイザーの宮城教育大学教職大学院の金田裕子准教授から、児童の学びの様子を振り返りながら指導助言をいただいています。小中一貫教育の核となる授業改善の強力な推進力となっています。

<授業研究会を終えて>

【三小】全学級が授業を公開し、市内外の多くの先生方に参観していただくとともに、金田先生から丁寧なご指導をいただきました。実践を重ねることで、新たな課題が生まれていますが、一つ一つ乗り越えていくことで、着実に授業改善を進めていきます。

【三中】パイロットスクール公開研究会で、中学1年数学の「図形の移動」の授業を提案しました。その中で見えてきた課題、①「教え合い」から「学び合い」への転換、②生徒の学ぼうとする意欲を引き出す「課題」の工夫を中心に研究を重ねていきます。